

放送大学新潟同窓会

会報誌 26 号



親松排水機場



鳥屋野瀉排水機場



住 所 新潟市中央区旭町通 1 番町
754 番地 (新潟大学旭町)
発 行 2024 (令和 6) 年 5 月 吉日
発行人 庄 司 和 義

親松排水機場

鳥屋野潟の水位は、信濃川の水位より 3,5m低くなっている。このため、周辺地域から鳥屋野潟へと流れ込み溜まっていく雨水などは、自然の状態では信濃川に出て行くことができず、そのままでは水は潟から溢れてしまう。

そこで、親松排水機場では強力ポンプで強制的に信濃川に排水している。
新潟地震後の昭和 43 年に設置されたが老朽化のため第二代目が平成 19 年に設置された。

鳥屋野潟排水機場

平成 10 年の水害を契機に、鳥屋野潟排水機場が平成 15 年に親松排水機場に隣接し鳥屋野潟の排水能力増強するため設備された。

大雨の際に稼動し、合わせて最大排水量 100 m³/s を確保している。

資料 新潟地域振興局 保存版より

| 目 次 | (頁数) |
|-----------------------------------|------|
| 1 会長挨拶 新潟同窓会会長 庄司 和義 | 2 |
| 公開講演会「新潟の傑物佐野藤三郎について」 | |
| ～農業・まちづくりを中心に～ | |
| 講師 新潟大学名誉教授 伊藤 忠雄 先生 | |
| 2 「2024年度」同窓会の報告 | 3 |
| 3 決算書・予算(案) | 3 |
| 4 放送大学新潟学習センター開設30周年記念シンポジウムに参加して | 4 |
| 新潟同窓会副会長 市川富夫 | |
| 5 論文発表会 | 5 |
| 中学教師によるスクールカウンセラーの満足度に関する研究 | 5 |
| — スクールカウンセラーのどんな支援が教師の支えや学びとなるか — | |
| 大学院文化科学研究科(修士課程) | |
| 臨床心理学プログラム 山田 清裕 | |
| 「言語資源としての新潟方言の活用から探る方言意識」 | 6 |
| 大学院文化科学研究科(修士課程) | |
| 人文学プログラム終了 外山 正史 | |
| 病棟看護師が実践できる脊椎手術の術後創感染予防を考察する | 7 |
| 生活と福祉コース 皆川 亜子 | |
| 6 卒業生茶話会 | 8 |
| 新潟同窓会副会長 麻場 キミ子 | |
| 7 私と放送大学 | 9 |
| 私と同窓会 | |
| 全科履修生 荻野洋子 | |
| 私と放送大学 | |
| いつのまにかの名誉学生 太田牧子 | |
| 8 私の趣味 | 11 |
| 全科履修生 白石圭子 | |